



性的指向は本当に個人的なこと？ RBg – ボッシュの LGBTI ネットワーク

2018年7月26日

PI 10712 RB MK/KB

- ▶ 調査報告書: 性的指向と性的アイデンティティーに対するオープンなアプローチが仕事満足度の向上に寄与
- ▶ 人事担当取締役のクリストフ・キューベル: 「RBg はボッシュ内の多様性のために貢献しています」
- ▶ 新しい LGBT アライ・ネットワークがサポートの窓口に

「週末はどうだった？」これはシンプルな質問ですが、誰にとっても同じというわけではありません。レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー、インターセクシュアル (LGBTI) の人々は、自分の性的アイデンティティーを隠さなくてはならないと感じることがよくあります。ドイツの場合、公衆の面前だけでなく、職場でも差別にさらされることがあるからです。ある調査では、回答したレズビアンやゲイの方々の約 4 分の 1 が、職場で社会的な疎外感を感じたことがあると述べています。つまりこうした人たちは、周囲のネガティブな反応のせいで、家庭のことや余暇で過ごしたことを同僚に伝える気になれず、自分のアイデンティティーを隠すために多大な労力を費やしていることになります。

しかし、職場では特に、性的指向と性的アイデンティティーに対するオープンなアプローチが大切になります。従業員各自がそれぞれ特別な才能や強みを伸ばせるよう、企業文化はオープンで、思いやりや理解に満ちている必要があります。そのため、性的指向と性的アイデンティティーは、ボッシュにおける多様性マネジメントの重要な要素となります。2006 年末に、6 人の従業員がボッシュ LGBT ネットワーク RBgay (RBg) を立ち上げました。「RBg は、性的指向や性的アイデンティティーに関わらず、各従業員がありのままにいられ、その姿が尊重されるオープンな企業文化を後押しするためのネットワークで、メンバーたちはボッシュの多様性のために貢献しています。従業員のポテンシャルや独創的なアイデアを最大限に引き出すためには、職場においてありのままの自分でいられる安心感が欠かせません」と、人事担当取締役のクリストフ・キューベルは述べています。調査によると、多様性に富んだチームの方がより良いパフォーマンスとより多くのイノベーションを生み出すだけでなく、異なる市場に関する理解度が向上し、変化にもより迅速に対応できるとされています。

性的指向に対するオープンなアプローチが仕事満足度の向上に寄与

従業員が自分の性的アイデンティティーを隠すことなくありのままにいられる職場環境であるほど、仕事満足度が向上し、愛社精神も強くなると、ドイツ連邦反差別局が2017年に実施した調査「Out im Office?!(和訳:オフィスにおけるカミングアウト)」で報告されています。レズビアンやゲイである従業員は、10年前と比べれば、自分たちの性的アイデンティティーについてよりオープンにできるようになったと感じているようですが、全体の3分の1は自分の性的アイデンティティーについてほとんど、または全く職場で明かしていないそうです。また、4分の3の人々が職場で差別を経験したことがあると答えています。

RBgのネットワークが多様性と機会均等を促進

ボッシュのLGBTIネットワーク「RBg」には、欧州、アジアや北中南米地域に400人以上のメンバーがおり、LGBTIの同僚に手を差し伸べ、周囲の模範となり、不安を和らげ、社内での認知度を高めるために活動しています。こうしたメンバーたちは、異なる性的指向や性的アイデンティティーを持った従業員が尊重・評価されるよう尽力し、偏見に囚われない職場環境を生み出そうとしています。「私たちは、ボッシュのLGBTIの従業員が職場でありのままにいられることを彼らに伝えたいという思いで活動しています。私たちはまた、職場で心の制約を設けなくても大丈夫であること、そして会社が従業員を支援することを伝えていきたいと考えています」と、LGBTIネットワーク広報担当のMathias Reimannは述べています。

LGBTアライ・ネットワーク – サポートの窓口

LGBTアライ・ネットワークは、2017年にLGBTアライ・イニシアチブによって立ち上げられました。ネットワークには、このテーマについてオープンに相談できるボッシュのあらゆる分野の従業員が参加しています。このネットワークに直接問い合わせることに戸惑いを感じるようであれば、ネットワークに参加している従業員を周囲ですぐに見つけ相談することができるほど、ネットワークは広がっています。同ネットワークは、差別や偏見にオープンに取り組み、従業員の意識を高め、オープンな職場文化の形成を後押しすることを目標に掲げています。

社会参加 – 世界に掲げるLGBTIの旗

RBgの活動は企業の枠を超え、コミュニティへと広がりがつあります。RBgはボッシュの数多くの従業員とともに、シュトゥットガルトのCSD(Christopher Street Day)イベントに2014年から毎年参加しています。このCSDは、RBgのメンバーやストレート・アライのボッシュ従業員と情報を交換するプラットフォームとなっています。「CSDは、性的指向や性的アイデンティティーというテーマにさまざまな人たちがアクセスし、これについてオープンに語り合える場です。CSDへの参加により、社会の偏見の打破に少しでも近づくことを期待しています」と、ネットワークを立ち上げたうちの1人であるJean-Claude Louxは述べています。

また、RBgはドイツ国外、例えば米国や日本でも積極的に活動を展開しています。

2016年に米国で立ち上げられたLGBTIネットワークのグループは、アフターワークイベントを定期的で開催しています。もう1つのグループも2018年に日本で立ち上げら

れましたが、日本では LGBTI に関して社会の理解が得られるまでなかなか長い道のりになりそうです。日本では定期的に LGBTI ランチ会を開催し、日々の業務の中でこのテーマに注意を向けてもらえるような活動を企画しています。

ボッシュの全従業員に開かれている RBg

ボッシュ・グループの従業員と退職者は誰でも、自分の性的指向や性的アイデンティティに左右されることなく、このネットワークに参加することができます。このテーマに関心があったり、活動に参加したいと思う人は、オンラインプラットフォームで登録できます(匿名も可)。メンバーはこのプラットフォームを利用し、フォーラムやプライベートメッセージを通じて情報を共有しています。また、職場における性的指向についての取り組みに関するニュース、イベントや情報がそこに掲載されており、ネットワークのメンバーは他の企業ネットワーク、地域のグループ、さらに PrOut@Work などの外部の組織とも連絡を取り合うことができます。なお、ボッシュは PrOut@Work 基金のメンバーで、スポンサーも務めています。

詳細情報:

[Diversity management at Bosch](#)

[Bosch careers - diversity](#)

[RBg network online](#)

[PrOut@Work](#)

["Out im Office?!" study 2017](#) (ドイツ語)

[2017 study, "Attitudes towards lesbians, gays, and bisexuals in Germany"](#) (ドイツ語)

#1405080, #1405085, #1405082, #1405083, #1405084, #1164272

世界のボッシュ・グループ概要

ボッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニーです。2017 年の従業員数は約 40 万 2000 人(2017 年 12 月 31 日現在)、決算報告での売上高は 781 億ユーロ(約 9.9 兆円*)を計上しています。現在、事業はモビリティソリューションズ、産業機器テクノロジー、消費財、エネルギー・建築関連テクノロジーの 4 事業セクター体制で運営しています。ボッシュは IoT テクノロジーのリーディングカンパニーとして、スマートホーム、スマートシティ、コネクテッドモビリティ、さらにコネクテッドインダストリーに関する革新的なソリューションを提供しています。ボッシュはセンサー技術、ソフトウェア、サービスに関する豊富な専門知識と「Bosch IoT cloud」を活かし、さまざまな分野にまたがるネットワークソリューションをワンストップでお客様に提供することができます。ボッシュ・グループはコネクテッドドライブに向けたイノベーションの提供を戦略的な目標に定め、革新的で人々を魅了する全製品とサービスを通じて生活の質の向上に貢献します。つまり、ボッシュはコーポレートスローガンである「Invented for life」人と社会に役立つ革新のテクノロジーを生み出していきます。ボッシュ・グループは、ロバート・ボッシュ GmbH とその子会社 450 社、世界約 60 カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売/サービスパートナーを含むグローバルな製造・エンジニアリング・販売ネットワークは世界中のほぼすべての国々を網羅しています。ボッシュの未来の成長のための基盤は技術革新力であり、世界 125 の拠点で約 6 万 2,500 人の従業員が研究開発に携わっています。

ボッシュの起源は、1886 年にロバート・ボッシュ(1861~1942 年)がシュトゥットガルトに設立した「精密機械と電気技術作業場」に遡ります。ロバート・ボッシュ GmbH の独自の株主構造は、ボッシュ・グループの企業としての自立性を保証するものであり、ボッシュは長期的な視野に立った経営を行い、

将来の成長を確保する重要な先行投資を積極的に行うことができます。ロバート・ボッシュ GmbH の株式資本の92%は慈善団体であるロバート・ボッシュ財団が保有しています。議決権の大半はロバート・ボッシュ工業信託合資会社が保有し、株主の事業機能を担っており、残りの株式は創業家であるボッシュ家とロバート・ボッシュ GmbH が保有しています。

*2017 年の為替平均レート:1 ユーロ=126.71118 円

さらに詳しい情報は 以下を参照してください。

www.bosch.com ボッシュ・グローバル・ウェブサイト (英語)

www.bosch-press.com ボッシュ・メディア・サービス (英語)

<https://twitter.com/BoschPresse> ボッシュ・メディア 公式ツイッター (ドイツ語)

www.bosch.co.jp/ ボッシュ・ジャパン 公式ウェブサイト (日本語)

<https://twitter.com/BoschJapan> ボッシュ・ジャパン 公式ツイッター (日本語)

<https://www.facebook.com/bosch.co.jp> ボッシュ・ジャパン 公式フェイスブック (日本語)

<https://www.youtube.com/boschjp> ボッシュ・ジャパン 公式 YouTube (日本語)